



最新情報を手に入れよう！

政策創造学部 ホームページ

政策創造学部のさらに詳しい情報、最新のトピックを知るには、「政策創造学部ホームページ」をご確認ください。学部の特徴やゼミ紹介、学生の声など、充実のコンテンツを揃えています。



政策創造学部
facebook



関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載！社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試

検索

/ クリック! \



関西大学の最新情報をチェックしよう！

LINE 関西大学 入試センター
公式アカウント



友だち登録は
こちらから！

Instagram 関西大学 入試センター
公式Instagram



X 関西大学 入試広報グループ
公式 X



YouTube 関西大学 入試センター
公式YouTube



大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

関西大学 学部案内 2026

政策創造学部

FACULTY OF POLICY STUDIES

政策学科

政治経済専修

地域経営専修

国際アジア学科



関西大学

政策創造学部

URL https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_policy/ 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
Tel. (06) 6368-1121 (大代表) e-mail policy@ml.kandai.jp

政策を創り、未来を創る

Make Policy, Build the Future

正解のない課題と向き合い、
アイデアを磨き上げ、
解決に近づく提案を発信する。
政策創造学部では、国内外の社会問題を批判的に分析し、
政策を立案・実践する力を身に付けます。

学部の魅力は？

多様な学問に
触れられるので、
幅広く学びたい人に
おすすめです。

将来の目標は？

金融業界に進み、
人々に寄り添い課題を
解決していく社会人を
めざします。

学部の雰囲気は？

1年次からゼミがあり、
ディスカッションや
グループワークが
盛んです。

学部を選んだ理由は？

国際的な考え方と
知識が身に付く、
絶好の環境だと
思ったからです。

政策学科 2年次生
北野 ひらりさん
(三重/四日市メリノール学院高等学校出身)

政策学科 4年次生
野々村 卓さん
(北海道/市立札幌旭丘高等学校出身)

国際アジア学科 3年次生
肝付 杏桃さん
(大阪/大阪府立渋谷高等学校出身)

国際アジア学科 1年次生
益田 岳幸さん
(愛媛/愛媛県立松山東高等学校出身)

政策創造学部で学べる領域

政策創造学部は、国際関係、政治、経済、経営戦略、法律、地域文化等多様な領域を横断的に学ぶことによって、現代社会の諸問題を、発見する力、解決の方法を見出す力、及びそれぞれを実行・実現する力を養います。



政策創造学部の学びの特色

01 少人数ゼミ教育

1年次からの少人数ゼミ教育により、プレゼンテーションやディスカッションをする力を身に付け、3年次から「専門演習」(ゼミ)に所属し専門的に学修します。

> 詳しくはP.11、P.12へ

02 国際教育プログラム

国際化時代にふさわしい、グローバルな視野に立って活躍できる学生の教育に積極的に取り組み、さまざまな外国語プログラムを開講しています。また学部独自の海外研修プログラムを実施しています。

> 詳しくはP.05、P.06へ

03 政策公務セミナー

公務員をめざす学生をサポートする政策公務セミナーを実施しています。1、2年次には少人数ゼミを開設、上位年次にはより専門的な知識を身に付けます。また、定期的な講演会、本学部の公務員試験合格者との対話会の機会なども設け、学生のキャリアデザインをサポートします。

> 詳しくはP.08へ

＼ 動画でチェック！ /
政策創造CHANNEL



在学生の声

政策創造学部では多様な個性をもった学生が、
将来の目標に向けてチャレンジしています。

政策学科

まちづくりを多様な観点から学び、
行政以外の立場から関わることを選びました。

公務員をめざす人に
ぴったりの学部だと思えます。

まちづくりに関することを学び、地域の役に立ちたいと思い、本学科を志望しました。入学後は行政だけでなく、政治、経済、法律、福祉など多様な観点からまちづくりを捉えることができます。入学当初は公務員をめざすつもりでしたが、ゼミで企業のマーケティング戦略や地域活性化の取り組みを学ぶ中で、民間企業の一員として地域の人々に関わりたいと考えるように。行政以外にも多様な学問に触れられる政策創造学部だからこそ、学んだことのすべてが自分の将来選択につながったと感じています。

政策学科 4年次生
米島 悠斗さん
(京都/京都府立洛西高等学校出身)

学生生活の様子

登山サークルでの活動



▲大学から始めた登山。山に登る楽しさや驚きを、一緒に分かち合える仲間に出会えてよかったです！

ゼミの仲間たちと



▲ゼミ生同士で質問が飛び交い、新たなアイデアが生まれるゼミです。

10日間のエジプト旅行



▲有名なピラミッドやスフィンクスを、サークルの仲間たちとたっぷり見てまわりました。

国際アジア学科

ゼミ活動と部活動を両立し、
多くの経験を得たことが自信になっています。

自分が学びたいことを
自由に学べる環境があります。

政治や経済、文化などに興味をもちつつ、1つに絞ることができなかったため、政策創造学部を選択。グローバルな観点からも学びたいと思い、本学科に進みました。また、「アジアの法と社会」という授業では、北欧と日本の社会制度を比較して、社会保障のあり方にも国ごとの文化や価値観の違いが表れることを実感できました。3年次からは現代日本政治を主なテーマとするゼミに所属。私は非正規雇用者の増加と、所得格差が拡大していることとの関連を研究しています。ゼミ活動では要点をまとめ、自分の意見を述べることで、自ら学び続ける力が身に付きました。

国際アジア学科
4年次生
白藤 すみれさん
(大阪/清教学園高等学校出身)

学生生活の様子

準硬式野球部での活動



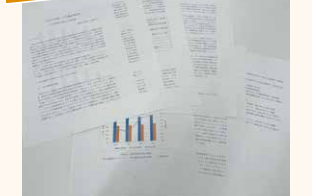
▲大学生生活の大半をマネージャー活動に費やし、先日は長年の夢だった甲子園の舞台に立ちました！

ゼミでの研究発表



▲少人数のゼミで文献を読み込む力、要点を分かりやすく説明する力が身に付きました。

卒業論文の執筆



▲所得格差という身近な問題を取り上げ、約半年間をかけてまとめ上げました。

学科紹介

学問領域の枠組みを超え、多様な視点から現代社会の諸問題に挑む

多岐にわたる分野の学びを通して、グローバル化、環境問題、日本の少子高齢化など、国内外の社会問題に対し、解決のための政策を柔軟かつ総合的に判断・提案する能力を養います。2年次に以下の2専修(政治経済専修、地域経営専修)に分属され、より専門性の高い知識を身に付けます。

政策学科



学びの
ポイント

- 1 多岐にわたる学びの領域を横断的かつ段階的に学ぶ
- 2 学ぶ意欲を高める実践的なカリキュラムとしてゼミ活動を重視
- 3 グローバル社会で生かせるコミュニケーション能力を育む
- 4 フィールドワークを通して、実社会の問題を考える



こんな人に
オススメ

- 政治経済専修** ▶ 国内外の社会問題の分析や解決に実践的に取り組みたい
公務員や議員として公共政策の作成に関わりたい
政府機関や多国籍企業、NGOなどの国際的な分野で活躍したい
- 地域経営専修** ▶ 地方公務員として郷土の発展に貢献したい
地域経済の活性化に関わりたい
経営のプロとして、幅広いフィールドで活躍したい

政治、経済、法律の観点から、激動する国際社会を読み解く

激動する国際関係、国際経済を読み解くため、政治、経済、法律の基礎を身に付け、アジアをはじめとした世界各国・地域と比較して、それぞれの特徴を学修します。今後、世界がどのような問題に直面するのか。その問題を解決するためにはどうしたら良いのか。考える力と行動力＝考動力を養います。

国際アジア学科



学びの
ポイント

- 1 欧米・アジアの諸言語で、世界各国・地域の社会を学ぶ
- 2 政治、経済、法律の基礎を確実に学び、実践に生かす
- 3 世界各国の社会を比較することで、現在の日本と世界を知る
- 4 アジアをはじめとした世界を、政治、経済、法律の視点から学ぶ



こんな人に
オススメ

- ▶ 現地採用を視野に入れ、世界各地で活躍したい
- ▶ グローバルな問題をさらに検討するために、海外を含めた大学院へ進学したい
- ▶ 国際機関、NGOなどで活躍したい
- ▶ 政策・企業法務に携わる実務家をめざしたい

国際教育プログラム

競争と共存が進む国際社会において通用する外国語運用能力をもち、グローバルな視野に立って活躍できる人材育成をめざしています。



海外で学ぶ

政策創造学部 独自の海外研修プログラム



オーストラリア 海外英語研修

シドニー大学

- 英語基礎能力の向上
- 社会科学分野のテーマについて英語で学修
- 現地文化などをテーマに、現地学生と意見交換
- ホームステイを通じて、現地の生活、文化を体験

対象年次: 1年次以上
募集時期: 9月下旬～
期 間: 約3週間
実施時期: 2月中旬～3月中旬
参 加 費: 約80万円
(為替レート等により変動)



Program Contents

- Global English
- Guest Lecture: Economics policy
- Global Citizenship: Working towards a brighter future
- Workshop with local students
- Intro to Australia Quiz/Speaking Australian English/Chat Club (Food, Aussie Wildlife, Music, Fashion, etc)/Campus Tour

※2024年度実施例



タイ 単位認定あり

ブーラパー大学

- 高度な英語運用能力と社会科学の基礎的素養を有する2年次生以上を対象
- 東南アジアの経済開発の“今”について学修(テーマ例: 東部経済回廊(EEC))
- 現地学生と英語で交流
- 政策創造学部教員による事前・事後授業を実施

対象年次: 2年次以上
募集時期: 4月中旬～
期 間: 約1週間
実施時期: 8月下旬～9月中旬
参 加 費: 約30万円
(為替レート等により変動)



Program Contents

Thai Language/Thai Tradition and Manners/Art Therapy/Thai Policy and Economy
Eastern Economic Corridor (EEC)/The Way of Life/Business Presentation

Activities

Bangsaen Exposure/Sub board Activity/Won Night Market/Buddhasart Temple/
Pattaya/Grand Palace/Wat Pho/Wat Arun/Icon Siam

※2024年度実施例

※国際情勢を勘案し、プログラムを変更することがあります。



学部で学ぶ

「即戦力となる英語」を修得する

プロフェッショナル英語

対象年次: 1年次以上

政治、経済、自然科学、社会科学、ビジネスなど多様なトピックスを英語で学修

VUCAの時代を切り開く英語運用能力を身に付けます。
※VUCA: 先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態

- 日本人講師がリスニングとリーディングを担当
 - 語彙力、基礎文法力の向上をめざします。
 - 通訳者の技術を用いたトレーニングでリスニング・リーディング力が飛躍的にアップします。
- 外国人講師がスピーキングを担当
 - レベルに応じてペアワーク、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションを行います。
 - 多様なトピックスを扱い社会に出てすぐに役立つ英語運用能力の修得をめざします。
- 6段階のレベル別クラス編成
 - 学生の語学力に合わせた学修が可能です。

特徴

外国語科目

ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語 ※P.11を参照

国際的な場面に応じた英語をマスターする

プロフェッショナル英語

対象年次: 3年次以上

ビジネスコース

ビジネスに必要な英語運用能力を身に付けます。

海外進学コース

大学院での学修、研究に必要とされる英語運用能力を身に付けます。

国際コーディネーターコース

通訳技術を修得することにより英語運用能力を全体的に伸ばすことをめざします。

諸外国の政策課題を現地の言語で学ぶ

グローバル・スタディーズ・セミナー

対象年次: 3年次以上

政策研究に関係する世界各国の政治、経済、法律を現地の言語で学修します。学修を通して諸外国の政策を理解するとともに外国語運用能力の向上をめざします。

テーマ例

- 英語で学ぶ国際関係論
- ドイツ語で学ぶヨーロッパ
- フランス語で学ぶ政治文化
- ロシア語で学ぶ政治・経済
- 韓国語で学ぶ文化と社会

英語圏に留まらない幅広い異文化の理解とともに、学問・知識の修得を目的とした外国語プログラムを開講しています。

プログラム
参加学生の
成長
レビュー

国際アジア学科 2年次生
阪口 和佳子さん
(兵庫/神戸海星女子学院高等学校出身)

※2024年度海外研修プログラム
タイ・ブーラパー大学参加

Q1

海外研修プログラムに参加したきっかけは?

A

高校生の頃にタイのドラマを観て、日本と異なるタイの人や文化に夢中になりました。それをきっかけに、タイの政治、経済、法律などをもっと知りたいと思っていたので、このプログラムは絶好のチャンスだと思い応募しました。

Q2

プログラムの期間中にどのようなことを学んだ?

A

主にタイの経済について学びました。タイは都市部と地方の経済格差が大きいのですが、交通インフラの整備など4つの目標を掲げ、経済発展をめざしている現状を知りました。また現地の学生とさまざまな場所を訪ね、タイの文化に触れることができました。

Q3

プログラムに参加して成長できたことは?

A

英語を積極的に話すようになりました。タイの学生たちはとてもフレンドリーで、友達がどんどん増えていきました。彼らとともに仲良くなりたくて、英語での表現が分からなくても自分から話しかけ、失敗を怖がらなくなりました。



Q4

プログラムで学んだことを今後どう生かしていきたい?

A

タイを再び訪ね、友人たちに会うつもりです。また、帰国後は政策創造学部の「コモン・ロー地域と法」というオールイングリッシュの授業を履修しています。英語の運用能力を高めようと考えています。

学部HP
海外研修プログラム
対談ページ
はこちら



学部イベント

新入生合宿

友人をつくり、
大学生活を充実させる

新入生指導行事の一環として、毎年4月中旬から下旬にかけて、新入生合宿を行っています。政策創造学部祭典実行委員会の学生が中心となって企画運営し、例年多くの新入生が参加する学部行事です。



※プログラムの内容は変更することがあります。

【2年次生向け】ゼミ紹介

先輩が
ゼミ選びをサポート

ゼミ連絡会の学生が主体となって、所属ゼミの紹介を2年次生に対して行っています。2024年度は、対面およびオンライン（資料配信）との併用にて実施しました。



アカデミックフェア【研究成果発表会】 グループで研究を重ね、政策提言を行う

学生が主体となって日頃の研究成果を発表するイベントです。自らの研究テーマを多様な視点で考える、よい機会となっています。

【2024年度 発表テーマ一覧】

- 「離島の現状と移住の促進」
- 「プロ野球の経営について」
- 「循環型社会に向けた3Rの推進-サステナブルファッションを通じて-」
- 「生駒市の空き家問題について」
- 「バレーボール競技の戦略的変化-男子日本代表に注目して-」
- 「難民問題について」
- 「投票行動における社会的手抜きの影響について」
- 「児童虐待の現状と虐待しない子育て」
- 「メディアの情報の中立性」
- 「自閉症スペクトラム症特性を有する成人のキャリア形成」

ビブリオ・コンテスト【書評コンテスト】 未来を創造するための100冊

本企画は、学部教員がさまざまな分野から選出した100冊の推薦図書から、学部生が自由に一冊を選択し、書評を作成するものです。表彰式では優秀賞の学生を対象に表彰状と副賞が授与されます。

「未来を創造するための100冊」のリストは

政策創造学部 100冊 で検索！



学生インタビュー

友人づくりのきっかけになります

合宿の約2カ月前から、「初めて会う人同士でも自然と会話が生まれるような企画」をめざして、仲間と手分けして考えていきました。合宿当日は新入生同士でグループを作り、伝言ゲームや書き出しゲームなどのレクリエーションや、「環境問題」など政策創造学部らしいテーマについて意見を出し合うグループワークにチャレンジしてもらいました。終了時に新入生から「楽しかったです」「ありがとうございました」と声をかけてもらったことが、何よりうれしかったです。

政策学科 2年次生
山下 翔伍さん
(兵庫/兵庫県立伊丹高等学校出身)



※政策創造学部祭典実行委員会とは
関西大学統一学園祭に向けての活動や学部行事の企画や運営を行っている学部公認の団体です。

学生インタビュー

学生主体でゼミ活動をさらに 活性化していきます



国際アジア学科 3年次生
米山 はるなさん
(大阪/金光八尾高等学校出身)

「ゼミ紹介」は2年次生が自分に合ったゼミを選ぶように、各ゼミの学生が活動内容や雰囲気を紹介する機会です。また、参加希望者を募り、日頃の研究成果を発表するのが「アカデミックフェア」です。発表後は先生や参加学生から質問をもらい、講評をいただきました。どちらも私が所属するゼミ連絡会が、学生主体で企画、運営、広報を行っています。ゼミ活動は、授業で学んだ考え方や知識をもとに、具体的な研究テーマと向き合う貴重な機会です。みなさんもぜひ政策創造学部でゼミ活動にチャレンジしてください。



▲ 12月に開催したアカデミックフェア

政策公務セミナー

公務員をめざす学生をサポート



▶ 「政策公務コース」の設置

「政策公務セミナー」の一環として、導入ゼミⅡ（1年次以上）、専門導入ゼミⅠ、Ⅱ（2年次以上）内に「政策公務コース」を設けています。政治学、経済学、法学などの初級～上級レベルの知識を身に付けることができるよう、専門の教員が少人数で指導を行います。

■ 政策公務研究 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

将来、政策公務職（国家公務員、地方公務員など）に携わることを目標にしている学生向けの特殊講義です。

＜政策公務研究で学ぶこと＞

政治学 政治学に関する基本的な知識・論点について理解する

経済学 ミクロ・マクロ経済学を理解し、試験対策を自ら進める基礎学力を身に付ける

法律学 公務員試験、資格試験における民法の重要論点を理解する

▶ 2024年度 講座開講実績

- 第1回** 本学部教員による政策公務セミナーの概要について
- 第2回** 大阪地方裁判所職員による（事務官、書記官等の役割）紹介
- 第3回** 本学部卒業生（地方公務員就職者）による実務紹介
- 第4回** 吹田市職員による実務紹介
- 第5回** 本学部卒業生（国家公務員就職者）による実務紹介
- 第6回** 本学部公務員試験合格者（地方公務員合格者）の体験談紹介
- 第7回** 本学部公務員試験合格者（国家公務員合格者）の体験談紹介

▶ 公務員就職状況

国の機関に勤め、国政に携わる国家公務員、地方公共団体に勤め、主に地域に密着した仕事をする地方公務員。これらの職に携わるためには公務員試験に合格することが必要です。本学部は、政策公務セミナーなどの取り組みもあり、一定の成果をあげています。

国家
公務員

国家公務員一般職、海上保安官、国税専門官、入国警備官、防衛省自衛隊 幹部候補生、防衛省自衛隊 一般曹候補生

地方
公務員

石川県職員、茨城県職員、愛媛県職員、大分県職員、大阪府職員、岡山県職員、京都府職員、熊本県職員、奈良県職員、兵庫県職員、福井県職員、三重県職員、和歌山県職員、芦屋市職員、王寺町職員、大阪市職員、加古川市職員、京都市職員、佐久市職員、吹田市職員、高岡市職員、伊達市職員、東郷町職員、長浜市職員、東大阪市職員、枚方市職員、舞鶴市職員

その他
公務員

大阪府警察官、京都府警察官、滋賀県警察官、大阪市消防吏員、高槻市消防吏員、枚方市寝屋川消防組合消防吏員、北海道教員、大阪府教員、吹田市教員

※2022～2024年度卒業生の実績を掲載しています。

公務員就職状況
をチェック！



公務員採用試験 合格者の声

日本の安全や制度を支え、より多くの人の暮らしに貢献したい。



政策学科 4年次生
田畑 桃香さん
(大阪/桃山学院高等学校出身)

入学前から公務員を志望していたので、進路支援に力を入れている政策創造学部に進学しました。そして公共政策を学んだこともあり、より多くの国民の生活に制度設計という観点から携われる行政職を志すようになりました。筆記試験と面接を経て最終的に選んだのは、国家一般職の中でも管轄内にいくつか支所がある大阪税関です。業務内容が幅広く、数年ごとに異なる部署を経験すると聞いているので、新しいことに積極的に取り組もうと思っています。

1～2年次

普段の授業を優先しつつ、サークルやアルバイトに打ち込みました。2年次には政策公務セミナーに参加して、3年次から学内講座を受講することを決めました。

3年次

5月から学内の有料講座で対策をスタート。対面授業を受け、決まったサイクルで勉強を続けました。復習を重視して知識を定着させ仲間と勉強を一緒に頑張ることでモチベーションを高めました。年内は主に筆記試験対策に集中し、その他にも、集団討論会に数回参加して対策を進めました。

4年次

春休みごろから起きている時間はほとんど勉強していました。5月は国家公務員の一次試験と大阪府庁の二次試験の時期が重なり、筆記試験と面接の対策を並行して進めることに。本命だった国家一般職の一次試験も迫っていて、余裕がない状態でしたが、キャリアセンターで面接練習を重ね、複数の合格をいただくことができました。

研究テーマ紹介

研究テーマ

過失／業務上過失に関する判例の分析

Q ゼミを選んだ理由は？

諏訪さん 刑事法学の授業で、犯罪者を正しく裁く難しさや、犯罪傾向から社会の現状を考察することに興味をもったからです。刑法に関係するテーマについてより深く学びたいと思い、山中ゼミに進みました。

山中教授 3年次の春学期は、「闇バイト」を入り口として、特殊詐欺や強盗についてグループで発表してもらいました。調べてみて何か感じましたか？

諏訪さん 私も単発のアルバイトをすることがありますが、指示されたものをある場所に取りに行くというような、事前の説明と異なる怪しい仕事をさせられる可能性もあると思いました。知識がないと、知らず知らずのうちに犯罪に加わることになることが怖いですね。

犯罪は思っているよりも身近に存在することを学びました

山中教授 諏訪さんたちのグループは、複数人による犯罪事例を取り上げましたね。判例を調べる前に、まずは詐欺罪や強盗罪について学び、これらの犯罪が複数人で行われた場合の刑法上のルールを調べてもらいました。

政策学科 4年次生
諏訪 翔子さん
(京都／京都府立南陽高等学校出身)

諏訪さん グループ内で手分けして調べる中で、私とは異なる角度から考える人もいます。自分では思いつかなかった視点や課題が見えてきて勉強になりました。さらに、この時の報告内容をブラッシュアップして、秋学期には学内のアカデミックフェア(→P.07)で研究成果を発表しました。

山中教授 こうして身近で起こり得る事例から刑法の知識を得るとともに、このゼミでは刑事政策についても学びます。文献を通して学ぶだけでなく、フィールドワークとして刑事施設の見学や裁判の傍聴をたびたび行っています。諏訪さんはどのように感じましたか？

諏訪さん 私は裁判傍聴が印象に残っています。法廷の雰囲気は裁判官、検察官、弁護士などそこにいる人によって毎回異なると感じました。また、日ごろ文字で学んでいる裁判の流れや判決の様子を、実際に目の当たりにすることで、判例を学ぶ際にイメージしやすくなりました。

山中教授 拘置所の見学にも参加しましたね。

諏訪さん 居室の中を見学して、5～6人が共同で過ごすには狭いと感じました。足を運んだからこそ、実感できたことです。



実務見学で生まれた好奇心が研究のモチベーションになります

山中教授 教科書で知識を体系的に学ぶことも大切ですが、実際に現場を見聞きすることで得られることもあります。フィールドで生まれた好奇心は、関係する刑法や刑事政策を深く調べる原動力になるので、積極的に出かけるようにしています。

Q 卒業論文の作成にける意気込みは？

山中教授 4年次になり、諏訪さんたちは「過失」という大きなテーマに対して、各自が興味をもった角度からアプローチしています。過失とは、不注意で意図せずに犯罪を犯してしまうことを指し、故意に行う犯罪とは刑法上の扱いが異なります。では、諏訪さんのテーマを説明してもらえますか？

諏訪さん 私は「夜間潜水講習事件」という判例を通して、過失行為とその結果の因果関係について調べています。この事件は、被告人であるスキューバダイビングの指導者が、指導補助者3名を指揮して、被害者を含む6名の受講生に潜水指導を行った際に起こりました。

山中教授 一定の業務についている人が、その業務上必要とされる注意を怠った場合、業務上過失と見なされ、刑法上の責任が重くなるために刑罰が重くなります。このケースもその観点で調べているんですね。

諏訪さん はい。本件は、スキューバダイビングの指導を行っていた被告人が、受講生の様子をしっかりと観察せずに勝手に移動を開始してしまい、その間に海のうねりや指導補助者の不適切な指導が重なり、受講生の1人が溺れて亡くなってしまったという事件です。

山中教授 どのように掘り下げていきましたか？

諏訪さん 業務上過失を認定する上で判断が難しい点や、因果関係について見解が分かれる問題点について検討しています。山中先生への中間報告で、「自信をもってほしい」という言葉をいただいたことがとても印象に残っています。

国際アジア学科
山中 友理教授

山中教授 卒業論文は4年間の集大成です。しっかりと調べて、分かりやすくまとめたと思うので、そこに諏訪さん自身の考察をどのように加えるかがポイントですね。楽しみにしています。

諏訪さん 私は刑法や刑事政策を学ぶことで、自分の身に何か起きた時に、必要な情報を手に入れる力を身に付けました。これは今後の人生に役立つと感じています。

山中教授 高校生の皆さんも、法律や政治は難しそう…と尻込みせずに、諏訪さんのようにさまざまな授業を受けてみてください。そして興味をもったことを掘り下げ、どのような職業に就いても正しく判断して生きていく力を身に付けてほしいですね。

その他の研究例

01

空き家の現状と生駒市の取り組み

日本の空き家率は全国で14%(約900万戸)に達し、深刻な社会問題となっています。主な要因は住人の死亡や施設入居で、解体費用の負担や更地活用の難しさから放置されるケースが多く見られます。空き家は倒壊や不法投棄、害虫発生などの危険をもたらします。この問題に対し、奈良県生駒市では「いこま空き家流通プラットフォーム」を立ち上げ、売買のワンストップサービスを実現。ただし、高齢者への認知度向上が課題として残されています。



02

2035年EV化問題

自動車産業は温室効果ガス削減のため大きな転換期を迎え、EUは2035年までにエンジン車廃止を決定しました。この急速なEV化政策が妥当であるのかを研究しています。EVは環境面で利点がある一方、充電設備の不足や航続距離の制限、環境負荷など課題も抱えています。各国のEV補助金も縮小傾向にあり、クリーン燃料によるCO₂削減も可能なことから、EV一辺倒ではなく、多角的な技術開発が重要と考えます。



03

児童虐待の現状と虐待しない子育て

日本の児童虐待対応件数は2022年度に219,170件を記録し、30数年前の約200倍まで増加しています。現状の対策は事後対応や早期発見が中心ですが、より効果的な防止策が求められます。スウェーデンでは法規制に加え、虐待しない子育て方法を社会全体で共有することで成果を上げています。日本でも同様のアプローチで、具体的な子育て方法の啓発活動を充実させることが、虐待防止の鍵となると考えます。



学部で展開する多彩なゼミをチェック！

政策創造学部では専任教員による多彩なゼミを開講しています。



カリキュラム

主体的に取り組む意欲や向上心を育む

政策創造学部
で学ぶ
4年間
(一例)

1・2年次

少人数教育で大学での学びに必要な
基礎的能力・基盤的な知識を身に付ける

1年次から少人数で行う「導入ゼミ」を開講。研究を行えるレベルまで「読む・書く・話す」力を高めます。また、1年次から受講可能な「プロフェッショナル英語」や「海外研修プログラム」により、国際化時代に欠かせない外国語運用能力を高めることができます。

3・4年次

培った知識や能力を基に、
より専門的な研究や卒業論文の執筆を進める

興味や関心に応じて、多分野にわたる展開科目を受講するとともに、3年次からの2年間はゼミに所属して研究活動に取り組みます。フィールドワークや政策提言などの実践を通して、学問と社会のつながりを感じながら研究を深めることができます。

入学			1年次			2年次			3年次			4年次			卒業・大学院進学					
			共通教養科目・外国語科目																	
			学科分属	専門教育科目	導入ゼミ		専修分属 (政策学科)	専門導入ゼミ		専門演習		卒業論文研究								
導入科目 (2学科共通)		基幹科目(2学科共通)																		
展開科目(学科・専修別に科目を選択)																				
専門教育科目	データ分析科目		データ分析																	
	導入科目		導入ゼミⅠ(社会科学入門) 政策学の基礎 政治学入門Ⅰ 法学入門Ⅰ 経済学入門 経営学入門		導入ゼミⅡ マクロ経済学の基礎 国際アジア研究の基礎 国際関係論入門 政治学入門Ⅱ 法学入門Ⅱ(各テーマ) ミクロ経済学の基礎															
	基幹科目						専門導入ゼミⅠ 公共政策論 政治過程論 行政学 自治体経営論 国法学Ⅰ		民事法学Ⅰ 刑事法学Ⅰ 社会人類学 経済政策論 金融政策 地域経済論		企業と組織Ⅰ 社会保障論		専門導入ゼミⅡ 専門導入ゼミⅢ(各テーマ) 国際法 政治学史 現代日本政治論 安全保障論		国法学Ⅱ リスクマネジメント論 財政学 国際経済論 国際経済政策 ロジスティクス論 社会政策論		専門演習Ⅰ(通年)		専門演習Ⅱ(通年)	
	展開科目	政策学科	政治経済専修																	
				地域経営専修	パターン	第一選択外国語		第二選択外国語		単位										
						A	英語		プロフェッショナル英語		8単位									
							B	英語		ドイツ語、フランス語、ロシア語、 スペイン語、中国語、朝鮮語		8単位								
	国際アジア学科			C	ドイツ語、フランス語、中国語			12単位												
					英語		4単位													
	外国語科目			Aパターン(英語のみ16単位)、Bパターン(英語8単位およびそのほかの外国語8単位)、Cパターン(ドイツ語またはフランス語または中国語12単位および英語4単位)のいずれかの履修パターンにより選択																

※カリキュラムは変更になる場合があります。

PICK UP 科目紹介

01 政策学の基礎

あらゆる方法を用いて問題解決を実現する

政策学は、社会にある問題を理解するだけでなく、解決策を考え、実行し、問題解決を実現するところまで含めての学問です。そのために、政治、法律、企業と非営利組織、ビッグデータ、他の学問など、使えるものは全て使います。この政策学の幅広さと躍動感を、複数の教員によるリレー講義により伝えます。



02 国際アジア研究の基礎

各国の法律や法制度について具体的に学ぶ

政治・経済・法律について国際関係、国際比較を通して学ぶ入門科目です。国際社会を理解するためにアジアをはじめとする世界各国の法律や法制度について、具体的なテーマを掲げて解説します。また、グローバル化が進む国際社会の動向、その下での各国の政治・経済の在り方、歴史や思想などについても学びます。



03 金融政策

中央銀行による経済安定政策を学ぶ

金融政策とは、中央銀行が経済安定や金融システム秩序維持などのために行う政策のことです。この授業では、中央銀行の政策手段や、政策対象となる短期金融市場、信用創造機能などの基礎的知識を学んだ上で、金融政策に関する諸論点への理解を深めることをめざします。また金融政策は、経済政策の主要な柱なので、その政策効果の分析にはマクロ経済学の基礎的なモデルを用います。



04 外交政策

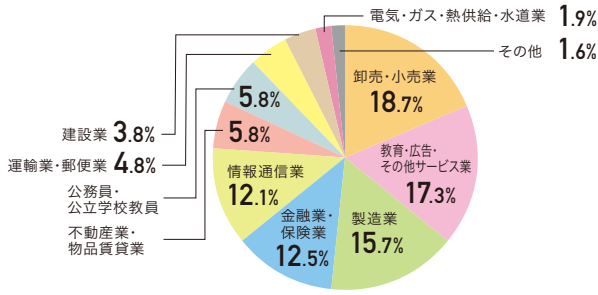
外交を知ると国際社会の仕組みが分かる

外交とは、国が平和的な手段で外国と交渉することを指し、戦争のような暴力を避けるために人類が紡いできた叡智です。この授業では、外交の理論・歴史・実践を探究し、それを通じて国際社会の構造と力学を理解することをめざします。授業の後半では、現代の 이슈、例えば、テロや感染症、国連の役割などについて深掘りし、今起きている世界の変化を理論的に分析します。



就職実績

政策創造学部卒業生が活躍する分野は多岐にわたっています。



就職先の一例（2025年3月卒業生実績）

卸売・小売業	伊藤忠食品、因幡電機産業、セブンイレブン・ジャパン、ダイワボウ情報システム、高島屋、たけでん、トラスコ中山、日伝、日立建機日本、ミキハウス、三菱食品、リコージャパン、良品計画
教育・広告・その他サービス業	共立メンテナンス、JTB、総合警備保障（ALSOK）、日本旅行、博報堂プロダクツ、ペイカレント、マイナビ
製造業	アイリスオーヤマ、伊藤ハム、エスケー化研、カナデピア、コクヨ、ザ・バック、サラヤ、セイコーエプソン、ソシオネクスト、ダイフク、THK、デンソー、東ソー、東洋製罐グループホールディングス、東洋紡、日本たばこ産業（JT）、ノエビア、パナソニックグループ、三井金属鉱業、Mizkan、三菱電機、三ツ星ベルト、山崎製パン、横浜ゴム
金融業・保険業	あいおいニッセイ同和損害保険、尼崎信用金庫、岡三証券、関西みらい銀行、かんば生命保険、紀陽銀行、京都銀行、住友生命保険、損害保険ジャパン、大同生命保険、日本政策金融公庫、日本生命保険、みずほ銀行、明治安田生命保険、リそなグループ
情報通信業	内田洋行、SCSK Minoriソリューションズ、NECソリューションイノベータ、NTTデータ関西、大塚商会、スミセイ情報システム、日本放送協会（NHK）、日本アイ・ピー・エム、日本総合研究所、富士ソフト
不動産業・物品賃貸業	近鉄不動産、阪急阪神不動産、三井不動産リアルティ、三菱地所コミュニティ
公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、茨城県職員、京都府職員、大阪府職員、兵庫県職員、愛媛県職員、大阪市職員、枚方市職員、芦屋市職員、北海道教員、大阪府警察官、大阪市消防吏員
運輸業・郵便業	関西エアポート、全日本空輸（ANA）、西日本鉄道、日本郵便、ロジスティード
建設業	奥村組、セキスイハイム九州、積水ハウス、大成建設、リンナイ
電気・ガス・熱供給・水道業	関西電力、北陸電力、北海道電力グループ、メタウォーター
その他	日本年金機構

※2025年3月30日現在

大学院〔ガバナンス研究科〕

ガバナンス研究科とは？

公的な問題の発見・解決に向けて、政策を立案・実行できる「高度公共人材」を養成

問題を発見してその解決策としての政策をデザインし、実現する能力をもつ“高度公共人材”を養成。地域環境とアジア社会経済の発展、地域活性化政策などの問題を取り上げ、学際的かつ多面的に学修し、より実践的な政策課題に取り組みます。

教員紹介

社会科学の諸分野を網羅する教員陣があなたとともに学び、新たな政策立案に挑みます。

政策学科	今井 希 教授 ・経営戦略論・経営組織論	岡本 哲和 教授 ・政策と情報・情報政治学・政策過程	梶原 晶 教授 ・政治過程論・行政学	小西 秀樹 教授 ・現代日本政治論・政治社会学	後藤 元伸 教授 ・民法・法人・団体法・独仏ヨーロッパ法
	徳丸 宜穂 教授 ・技術経済論・比較政治経済学・北欧社会経済研究	内藤 友紀 教授 ・マクロ経済政策・金融史	西山 真司 教授 ・政治学・政治理論	福味 敦 教授 ・インド経済論	宮下 真一 教授 ・消費財産業のサプライチェーン研究
	矢寺 顕行 教授 ・人的資源管理論・経営組織論	吉川 大介 教授 ・ファイナンス	三枝 憲太郎 准教授 ・イギリス地域社会論	高崎 春華 准教授 ・国際経済論・EU経済論・国際経済政策	初見 健太郎 准教授 ・文化経済学・計算社会科学・ゲーム理論
国際アジア学科	浅野 宜之 教授 ・比較憲法・南アジア法	五十嵐 元道 教授 ・国際関係論・安全保障	柄谷 利恵子 教授 ・国際関係論・国際政治学	河崎 信樹 教授 ・国際経済政策・アメリカ経済史	権 南希 教授 ・国際法
	西澤 希久男 教授 ・タイ法（民法、高齢者法、障害者法）・比較法	安武 真隆 教授 ・ヨーロッパにおける政治と思想	山中 友理 教授 ・刑法・刑事政策	杉浦 勉 准教授 ・財政学・英国財政論	森田 崇雄 准教授 ・行政法・環境法
	2025年度 客員教授	新川 達郎 同志社大学名誉教授	森 壮也 日本貿易振興機構アジア経済研究所主任研究員	教員紹介ページをチェック！▶▶	



卒業生メッセージ

公務員や民間企業など幅広い業界で活躍し、挑戦を続ける卒業生からのメッセージをご紹介します。

2023年3月卒業
東京海上日動火災保険株式会社 就職

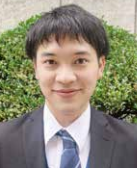


学問分野を問わず
幅広く学んだ経験が
現在の業務に生きています。

堀内 実紅さん | お客さまの不安を取り除きながら最適な提案をして、事故の解決をめざします。

現在の仕事をめざすきっかけの一つに、3年次に受講した損害保険論という授業があります。保険がいかに人々を支えているか、これからのライフプランの中で重要な存在であるかということを学ぶことができ、損害保険業界に興味をもちました。現在も、在学中に学んだことを生かして業務を行っています。今後も社内外の人々に、私が担当して良かったと思ってもらえるよう貢献することが目標です。

2022年3月卒業
国税庁 大阪国税局 就職



国税専門官として働くことを
めざすきっかけは在学中の
政策公務セミナーでした。

五味 雄大さん | 税金のプロフェッショナルとして、法人への税務調査を行っています。

税務署の職員として法人への税務調査を行っています。私は在学中、政策創造学部が開催する政策公務セミナーに参加して、実際に公務員として働いている先輩方の話を伺うことができました。現場の生の声を聞くことで自分の将来を考えるようになり、国税専門官をめざすモチベーションをもらいました。今はまだ発展途上ですが、税金のプロフェッショナルとして、国税庁の理念である「適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」に貢献していきます。

2022年3月卒業
株式会社商船三井 就職



在学中に広く深く学んだ経験が、
正解がない社会課題と
向き合う今に生きています。

朝倉 貫太さん | 環境にやさしい次世代エネルギー事業に従事しています。

現在は、脱炭素関連の仕事に関わっていて、国内外の政治、経済、法律等に注目する毎日です。脱炭素社会は新しく作られていく市場であるため、正解がないことも特徴です。在学中は1年次から幅広く学問を学び、その中で特に興味をもった「大阪都構想」についてゼミ活動で掘り下げました。自分で学びを選択して組み合わせ、“自分だけの視点”で物事を考える力を磨いたことが、現在につながっていると感じます。

2021年3月卒業
奈良県庁 就職



地域が抱える課題への
関心を深め、将来を見据えて
学ぶことができました。

西本 咲貴さん | 総合職（行政）として、県民の方が暮らしやすいまちづくりに取り組みます。

大学で何を学ぶか絞りができなかったため、選択肢の幅が広い本学部に入學。学びを進める中で、少子高齢化、まちづくり、地域産業戦略といった地域の課題に関心が高まり、地方公務員をめざす意志がさらに強まりました。また政策公務セミナーにおいて、公務員試験合格者のお話を聞いたことが大きな励みに。多くの経験談やアドバイスをいただいたことで、モチベーションを高めることができました。

学部長メッセージ

政策創造学部をめざすみなさんへ

激動の社会を進むために

現代の社会は、状況が次々と変化し、たくさんの情報があふれています。このように、スピードが速く情報が多すぎる社会で生きていくためには、しっかりとした知識が必要です。多くの情報に惑わされるのではなく、その中から正しい情報を見つけ、その情報をもとに社会を見つめる力が求められます。この力は、一つの視点だけで物事を見ても身に付きません。いろいろな視点から物事を見ることで、正しい姿が見えてきます。政策創造学部では、変化の激しい現代社会の問題を理解し、解決策を考え、それを実行する力を身に付けるために、いろいろな視点で物事を分析する力を養います。そ

のために、国際関係学、政治学、経済学、経営学、法学など、社会科学に関する幅広い授業を用意しています。最近、世界中で民主主義が危機に直面するなど、これまで大切にされてきた価値観が挑戦を受けています。このような状況を理解するためには、ヨーロッパの視点だけでなく、他の地域の視点も必要です。政策創造学部では、特にアジアの視点を身に付けてもらうために、アジアに関する授業を充実させています。激動の社会を進んでいくためには、荒波にたえられる土台（学問的知識）が必要です。その土台を「創造」するために、一緒に学んでいきましょう。

政策創造学部長 西澤 希久男 教授

